

第4回今津作業部会議事録

開催日時: 令和8年9月16日 14時～15時30分

開催場所: 今津コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	A	B
人数	4名	4名

- ①第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の関連付けについて

第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」が列記された模造紙と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の紙を用意。それぞれ関連があると思われるものを関連付けた。

- ②①の列記されたタイトルの中から4つ選抜

第1回作業部会で出された「地域にいる人達」や「地域の強み」を列記した資料を参照しながら、そういったものを活かしながら自分たちで取り組めるもので今後5年間、取り組んだ方が良いものをグループで4つ選抜。

それぞれのグループでどれを選択したか情報共有を行った。

- 選抜されたものについて、具体的にどのような取り組みを行うか

②で各グループが選択したものを取り組む際に、実際、どのように取り組んでいくかをグループ毎に検討した。

出された意見

1	一人ひとりをたいせつにする	学習会や講演会で認知症や障がいの理解を深める
		まずは住民同士であいさつをして両隣、近所の関係を深める
		高齢者、外国人、転入者、子どもを含め隣同士のつながりをつくる(あいさつ)
2	居場所づくり	週一体操が居場所でお茶のみ等で活用
		子ども食堂で地域の居場所として活用(世代間交流)
		コミュニティセンターのサークル・講座
		サロンの継続
		週一体操に集まる
		行事や教室のアピールをする
3	世代間交流を増やす	全世代が参加できる(盆踊り・わいわいまつり)イベントを開催する
		各地区ごとの行事を増やす(週一体操・犬丸大名行列・どんど焼)

		き・梅園まつり)
		ふれあいまつり・盆踊り・餅つき大会・子ども食堂
		気軽に来れる催しなどあまり見かけない人が参加できる場
		子ども食堂を増やす
		町民運動会等を行う、復活しては？
		わいわい祭りを継続して少しでも盛り上げていく(中間世代の獲得)
		今現在ある行事をより盛り上げていく
4	つながりと支え合い	すみれ・サロン・週一体操
		週一体操の後にお茶飲み会をする・月に1回はお茶会する
		週一体操の魅力を伝える
		イベントが増えることで顔見知りになりあいさつが出来るようになる
5	災害	水害に対して訓練をしたい(各地区でのマニュアル作り)
		訓練への参加が少ない、動員はあった
		避難所が居づらかった
		体験会や学習会をする
6	見守り	パトロール活動の見直し(民生委員も関りを)
		月一の民生委員の意見交換会を使って見守りを
		自治委員と民生委員との情報の共有のしくみをつくっていく
		近所を気に掛ける
		LINEを使って安否確認をする
		回覧板を渡すとき必ず声をかける
		防犯パトロールを増やす
		下校時の見守り(旗もち)
7	人材育成(後継者)	独居老人宅の定期訪問を民生委員がする
		若い世代(40～60)に各地区の行事に参加してもらう、近所で声かけ
		自治委員、民生委員の活動内容を若い人たちに知ってもらう
		人を探して交流を増やす
		若い人限定の催しをする、子ども同伴が多い
		地区ごとの話し合いのネットワークを作っていく、茶会をひらく
		中間世代の集まる機会づくり、地区の行事など

